

仕様書

次の条件を満たすものとする。

第 1 調達機器及び機器構成

1 水剤分注機 一式

第 2 機器に関する仕様

| | |
|------|--|
| 1 | 水剤分注機本体は以下の要件を満たすこと。 |
| 1-1 | 設置場所を考慮し本体寸法は W600mm×D600mm×H2000mm 以内であること。 |
| 1-2 | 最大 10 品目以上の水剤瓶が搭載可能であること。 |
| 1-3 | 機械内部に専用タンクが搭載されており、希釈・洗浄・廃水エリアが仕切られている構造になっていること。 |
| 1-4 | 機器動作に伴い、音声ガイダンスもしくはサウンドにてお知らせ機能を有すること。 |
| 1-5 | 機器正面には、パトライトが搭載されており、本体状況をライト色で把握できること。（青色点滅：処方受信時、青色点灯：分注完了時、黄色点滅：薬品欠品、赤色点滅：エラー発生時） |
| 1-6 | 投薬瓶は処方量から最適なサイズを機器が自動判別し、画面に表示する機能を有すること。 |
| 1-7 | 投薬瓶を機器へセットする際、誤った投薬瓶を入れる恐れがある為、分注動作開始前に投薬瓶の重量・高さのチェックを行う機能を有すること。 |
| 1-8 | 薬品の自動攪拌機能を有し、沈殿・分離しやすい薬品にも対応可能であること。 |
| 1-9 | 水薬元瓶と専用キャップのバーコードにて薬品の充填チェックが行えること。 |
| 1-10 | 搭載薬品の有効期限を登録することで、有効期限切れの薬品に対してアラート表示する機能を有すること。 |
| 1-11 | ノズルの洗浄は各分注ごとに行い、洗浄後はエアブローで残滴も抑制できる機能を有すること。 |
| 1-12 | ノズル洗浄時には高粘度の薬品や糖分を多く含まれる薬品で起きがちな凝固によるつまりを抑制する為、60℃前後の温水を使用して洗浄する機能を有すること。 |
| 1-13 | 薬品の分注量は重量によるチェックができること。 |
| 1-14 | 水や単シロップなどの賦形剤による希釈も処方データに基づいて自動分注が行えること。 |
| 1-15 | 分注完了後はジャーナルプリンターから記録シートが出力され、合わせてラベル出力が可能なこと。 |
| 1-16 | 薬品のこびりつきによる機器エラーを回避するため、機械内部のレールや専用キャップは水洗いが可能なこと。 |
| 1-17 | 電源は A C 100 V を使用し特別な設備を必要としないこと。 |
| 1-18 | 待機電力を抑える省エネモード機能を搭載していること。 |
| 1-19 | 薬剤部門システムと接続し、オーダーリングシステム情報を取得するために機械本体に搭載されているパソコン以外に特別な装置、端末を必要としないこと。 |
| 1-20 | 待機電力を抑える省エネモード機能を搭載していること。 |

第3 その他

| | |
|---|---|
| 1 | 調達機器のうち薬機法に基づく製造承認が必要な医療機器に関しては、入札時点でその承認を受けている物品であること。 |
|---|---|

| | |
|----|--|
| 2 | 薬機法対象外の調達機器は、原則として入札時点で製品化されていること。ただし、入札時点で製品化されていない機器によって応札する場合は、本仕様書に示す技術的要件を全て満たすことが可能であることを証明する技術的要件、納入期限までに製品化され納品できることを保証する開発計画書及び確約書等を提出すること。 |
| 3 | 機器本体、付属品及び付帯設備は、すべて未使用品であること。 |
| 4 | 納品後 1 年間は、通常の使用により故障した場合の無償修理に応じること。 |
| 5 | 搬入、据付、配線、設備、設置場所の工事・調整に係る費用は全て、本調達に含まれること。 |
| 6 | 機器の搬入、据付及び調整については、センターの診療業務に支障きたさないよう、センター担当者と協議の上、その指示によること。 |
| 7 | 機器の設置作業スケジュールについては、センター担当者と事前に打ち合わせ、作業日程と体制を提示し、センターの承認を得ること。 |
| 8 | 機器の据付、正常動作のための調整確認後、センター職員に対して機器の操作及び保守管理に必要な技術指導を行った上で、機器を引き渡すこと。 |
| 9 | 機器の搬入、据付及び調整に伴い障害（建物等の破壊、機器の破損等）が発生した場合は、センターに協議の上、速やかに復旧すること。 |
| 10 | 機器の搬入、据付及び調整に当たっては、安全管理に万全を期することとし、センターは発生した事故等の責任を負わないこと。 |